

試験研究成果普及情報

部門	林業	対象	普及
課題名： 長果母枝法を導入したクリ栽培			
<p>[要約] 新たに開発された長果母枝法を導入したクリ栽培では、従来から行われている開心形二本主枝形と比較すると、1. 健全果収穫量は約1/2程度と少ないが、単果重は平均25g以上で、同様に大果クリ生産が可能、2. 品種により導入の適不適がある、3. 1樹の整枝剪定作業時間は約14分で約1/9の時間でできる。</p>			
<p>キーワード (専門区分) 特用林産 (研究対象) 特用樹 - クリ</p> <p>(フリーキーワード) クリ栽培、整枝剪定、超低樹高仕立て、長果母枝法</p>			
<p>実施機関名 (主 査) 林業試験場特用林産研究室</p> <p>(協力機関) なし</p> <p>(実施期間) 1996年度～2000年度</p>			

[目的及び背景]

クリ栽培において整枝剪定は重要な管理作業であり、良質なクリ果を生産するためには必須の作業である。しかし、これまでの整枝剪定方法は、高度な技術を要し時間がかかること、高所での危険な作業であること、放任していてもある程度は収穫が得られることなどから、混んだ枝を間引く程度で、ほとんどが放任状態であった。そのため、十数年経過すると樹高も高くなり、枝が密生し、果実が小さくなるばかりでなく、枯死するものも多くなり、廃園に至ることも少なくない。

新たな整枝剪定方法として、少しでも多くの栽培者が整枝剪定を実施できるように、全ての作業が地上からでき、簡単で安全な長果母枝法（長果母枝形）という方法が開発された。この方法を導入してクリを栽培し、従来から行われている低樹高仕立て（開心形二本主枝形）と比較した結果から、長果母枝法の特性を示す。

[成果内容]

1. 1品種1樹形1樹を対象に収穫量等を調査したところ、健全果収穫量は開心形二本主枝形の約1/2程度と少ないが、1果の重量は平均25g以上となり、大果クリ生産が可能で、量より質を求めた栽培法であることが認められた（表-1）。
2. 各品種の収穫量から、品種により導入の適不適が認められた。今回調査した品種の中では秋月、筑波、岸根、石鎚の4品種が導入可能と判断された（表-1）。
3. 樹形別の全ての整枝剪定作業時間から1樹の作業時間を算出したところ、1樹あたり約14分（冬期剪定約11分、夏期剪定約3分）で、開心形二本主枝形の約1/9の時間ででき、短時間に簡便にできることが認められた（表-2）。

[留意事項]

1. 樹形が安定するまで数年間収穫が望めない。特に放任状態のクリ園では極度の樹高調整が必要なため、クリ園全体を一度に切り替えるのではなく、徐々に切り替えていく必要がある。
2. 毎年必ず、冬期剪定（本剪定）と夏期剪定（補助剪定）を実施する必要がある。

[普及対象地域]

県下クリ栽培地帯

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表-1 品種別樹形別結実状況

樹形	品 種	樹冠面積 m ²	総収穫量		健全果収穫量		健全果率 %	単果重 g/個
			g/樹	g/m ²	g/樹	g/m ²		
長果母枝形	日 向	16.4	2,052	125.1	1,215	74.0	58.4	23.9
	秋 月	11.4	3,041	266.7	2,188	191.9	62.3	28.7
	出 雲	17.3	1,720	99.4	979	56.6	57.9	32.4
	国 見	15.9	2,028	127.5	1,660	104.4	67.3	31.9
	有 磨	18.5	1,754	94.8	1,236	66.8	75.3	25.8
	筑 波	14.2	6,196	436.3	4,960	349.3	79.5	27.1
	銀 寄	15.2	1,789	117.6	1,010	66.4	54.1	26.3
	岸 根	11.8	2,918	247.3	2,189	185.5	69.9	29.7
	石 鎚	17.7	3,610	203.9	2,638	151.6	62.1	27.5
	二本主枝形	日 向	30.8	8,537	227.1	5,683	184.5	64.8
秋 月		21.5	8,885	413.2	5,256	244.4	55.5	32.9
出 雲		36.2	7,195	198.7	4,588	126.7	66.2	27.4
国 見		26.6	7,354	276.4	5,677	213.4	73.6	33.5
有 磨		31.7	11,432	360.6	9,077	286.3	77.1	25.3
筑 波		23.7	20,885	881.2	17,802	751.1	82.3	26.2
銀 寄		27.9	13,184	472.5	9,863	353.5	71.0	25.8
岸 根		21.1	11,997	568.6	8,830	418.4	72.8	29.1
石 鎚		24.2	8,044	332.4	6,133	253.4	68.1	27.5

注) 樹冠面積は 2000 年 10 月の値、それ以外は 1998 年～2000 年 3 か年の平均値

表-2 整枝剪定作業時間

樹形		総作業時間 (時間)	1 樹の時間 (分/樹)
二本主枝形		153.0	129.3
(本数 7 1 樹)			
長果母枝形	冬期剪定	13.5	11.1
	夏期剪定	3.5	2.9
(本数 7 3 樹)	合 計	17.0	14.0

注) 1999 年と 2000 年 2 か年の平均

[発表及び関連文献]

富谷健三(2001)平成12年度試験研究成果発表会資料-新しい農林業技術(林業)-、36~42、千葉県・千葉県農林技術会議